

テーマ

**春日は一つ三つの輪**

目標

- 園児・児童・生徒が主役として活躍するフェスタを地域と協働して取り組む。
- 各校園が地域や校園で交流する活動に取り組む。
- 各校園が積極的に地域人材を活用するボランティア事業（図書館活性活動、園芸作業、清掃活動等）に取り組む。

## 今年度の取組紹介

取組目標の一つであるフェスタ事業として、「せいびっ子祭り」、「スポーツフェスタ in せいび」、「大安寺フェスタ」、「済南ふれあいフェスタ」、「春日ふれあい文化祭」を、校区内の小中学校において開催しました。これらの取り組みは、地域と学校、家庭が協働して企画運営を行っています。子どもたちが主役となって活動し、地域の方々とのふれあいを深めるとともに、幼小中の枠組みをこえた交流を行うことができました。また、地域人材を活用するボランティア事業では、多くの地域ボランティアの方々の協力を得て、「図書館活性活動」、「園芸作業」、「清掃活動」など、教育環境の整備に取り組みました。

さらに、「地域の子どもは地域で守る」という理念のもとに始まった『地域別懇談会』が年3回開催されています。青少年の健全育成を願い、地域の様々な立場の方々が集まって情報や意見の交流、研修などを行っています。今年度の第105回は3小学校区合同で開催され、「薬物乱用防止について」というテーマでご講演いただきました。



[春日ふれあい文化祭]



[第105回地域別懇談会]

## 今年度のまとめ

各フェスタ事業では、子どもたちが主役となって生き生きと活動し、地域の方々や各校園の子どもたちとの交流を深めることができました。また、日頃あまり学校園と関わりのない地域の方々にも多く足を運んでいただき、地域と学校園のつながりをより一層広げることができました。さらに、地域人材を活用したボランティア事業では、教育環境を整備することに取り組み、子どもたちが地域の方々の手で守られていることを改めて感じ取ることができました。「地域別懇談会」は、地域と学校、家庭（保護者）の連携を深めるための良い機会となりました。

## 来年度に向けて

今年度まで続けてきた事業をさらに発展させ、継続することによって、地域との連携をさらに深められるように取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

## 春日ステッププラン

目標

地域の方々との関わりを通して、「役に立っている」「必要とされている」「自分にも出来る」という思いを持たせ、自尊感情を醸成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

### 今年度の取組紹介

今年度の主な取り組みとして、生徒たちが普段取り組んでいる部活動を通して地域の方々と交流する「出前で部活」事業、学習意欲や基礎学力の向上を目指した放課後学習会の「わかるわかる学習会」や各種体験学習に取り組みました。さらに、夜間学級では、学習支援事業としてボランティアによる日本語指導支援を行いました。

「出前で部活」事業は、地域の幼児からお年寄りまでの方々と交流することで、生徒たちが様々なことを学びとることができ、地域の方々とのつながりを深める良い経験の場となっています。「わかるわかる学習会」は、週2回放課後に行う学習会で、本校の卒業生や地元の大学に通う大学生を指導者として来て頂いています。生徒の自学自習を基本に、基礎学力の定着を図る「こつこつコース」と発展的学習に取り組む「どんどんコース」に分かれて学習を行っています。



[出前で部活(バレーボール部)]



[わかるわかる学習会]

### 今年度のまとめ

「出前で部活」事業は、自分たちの「得意なこと、好きなこと」を生かしての活動であるため、自信をもって地域の方々と触れ合うことで、「役に立っている」、「必要とされている」と感じることができ、自尊感情を醸成するうえで成果が上がりました。「わかるわかる学習会」は、生徒自身の「勉強がわかるようになりたい」という思いから、自分の力にあった教材を使用して粘り強く取り組むことで、「わかるようになってきた」という思いをもてるようになり、「さらに学びたい」と学習意欲の向上につながりました。

### 来年度に向けて

本年度の取り組み同様、「学習への意欲回復と基礎学力の向上、自尊感情の醸成と自立・共生の集団づくり」を目指し、「出前で部活」事業、「わかるわかる学習会」、各種の「体験学習」、夜間学級における学習支援などの取り組みを進めていきたいと考えています。

テーマ

## 奈良大好きせいびっ子

目標

済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）を各学年で実施する。

心豊かな子どもを育てるため地域の教育力を生かすとともに、教育環境を整備する。

地域の伝統や自然を愛する心を養い、それらを守り育てていく態度を養う。

今年度の取組紹介

2年生 「わくわくさんぽ せいびの町」

自分が見つけた「済美の町のすてきな所」を紹介し合い、全員で町探検をしました。済美の町にはすてきなところがいっぱいあることを知りました。その後「町の達人」を探しに出かけ、井ゲタ醤油屋さん、ケーキ屋さん、朝日温泉、徳融寺など、子どもたちが知りたい数ヶ所を探検し、「町の達人」発表会で保護者に紹介しました。



この人たちと触れ合い、探検させてもらって、済美の町にはすてきな人がたくさんおられることを知りました。子どもたちはますます済美の町が好きになりました。

5年生 「奈良のすごい人」

古都奈良には東大寺はじめたくさんの寺があり、これらを守り伝えてきた人々がいます。奈良のすごい人を探っていく学習を5年生は行ってきました。まずは忍性を絵本を書かれた浄土寺の住職さんにお話を聞きました。住職さんはすべての人を救済していった忍性の生き様を知り、そのすごさをたくさんの人々に知ってもらいたいと絵本を書いたことがわかりました。そこで、5年生も奈良のすごい人を自分たちで調べ、絵本にして伝えていく学習を行いました。

今年度のまとめ

「済美で学んだことを誇れる子ども」を育てるため、済美・奈良の「人・もの・こと」を題材とした学習活動（世界遺産学習）に全学年で前年度までの成果を生かしながら取り組みをすすめました。本年度は昨年度の課題であった授業に関わった学校と地域の事前の打ち合わせが十分になされることで、授業が効率的にまた効果的に行うことができました。お世話になる地域の方々に、一緒に作業していただくことで、「わかりやすかった。」という声があり児童の学びへの意欲が高まっています。

来年度に向けて

地域による学習活動を支援していく教育力をお借りして、今までからこのような学習活動をすすめてきました。今後も地域との話し合いを大切にし、絶えず新たな済美・奈良の「もの・こと・人」を見いだし、発信することで、「済美・奈良を誇れる子ども」を育てる学習を進めていきます。

## テーマ 大安寺っ子、地域で学び、つながろう！！

校区・地域におられる様々な方々との出会いや触れ合いを通して、人と人がつながることの大切さを学ぶとともに、地域社会から学ぶことの大切さを身に付けることを目標に事業に取り組む。

### 今年度の取組紹介

今年度も、「地域・仕事に学ぶ」事業においては、6年生は、エステ経営者・自動車販売営業マン・歌手(シンガーソングライター)・焼き鳥店主等のいろいろな職業の方から仕事の内容や大切にしていることなどを学び、今、自分達が何をすべきか・何ができるかを考えることができました。

「大安寺から学ぶ」事業においては、地域の民生委員・万年青年クラブなど各種団体の協力のもと多くの人との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流を深めました。1年生では、あやとり・竹馬・おはじき・けん玉などの昔の遊び、2年生では、大安寺を見学しての世界遺産学習、3年生では、昔のくらしを子どもたちが直接地域に出向き、カメラやビデオで記録したりインタビューしたりするなど、直接地域から学ぶことができました。



### 今年度のまとめ

年間を通じて、校庭や中庭の環境整備を行うことができ、季節の花々を楽しむことが出来るようになりました。また、校舎内・外の環境整備も一步一步進めることが出来ました。さらに、図書館の整備活動や、学年文庫・学級文庫の充実も進められ、朝読書や「お話の会」の読み聞かせでも、集中して読んだりお話を聞いたりする児童の姿が多くみられ、読書に親しむ機会が広がりました。多くの「地域の人」との関わりを大切にしながら、体験学習や出会いを通して交流が深まり、子供たちが顔見知りになり、あいさつできる児童が増えました。また万年青年クラブの方々からは、児童と交流することで『元気になれ、楽しい』という声をいただきました。今後もこの取り組みを大切にしていきたいと思えます。

### 来年度に向けて

校区・地域におられる様々な方々に来校していただいて、地域の事や、伝統・文化・いろいろな職業について学び、地域社会から学ぶことの大切さを身につけ、いろいろな職業や生き方を知り、自分らしい生き方をするための能力や態度をさらに、育てていきたいと思えます。

テーマ

**子どもでつながる「チームせいなん」**

目標

・環境整備事業、学習支援事業などでの、地域の方々とのふれ合いを通して、基本的な生活習慣や、規範意識を育てていく。また、子どもとの関わりを通して、子どもと地域、学校と地域、地域同士のつながりを深めていく。

**【今年度の取組紹介】**

今年度、「チーム済南」は、例年行っている昔遊び教室や絵手紙教室でも、多くの方にご協力いただき、学習支援ボランティアとして子どもたちに指導していただくことができました。また、昨年度までの取り組みを継続し、球技クラブ、家庭科クラブ、カロムクラブで、クラブボランティアとして地域の方に教えていただきました。

子どもたちは、優しく教えていただけることで地域の方々との会話が弾み、楽しい活動を通して地域の人のぬくもりを感じることができました。

ボランティアの方々は、子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの思いを受け止めながら、それぞれの活動にたいして、子どもたちに丁寧に助言していただきました。

地域の方々には、授業の様子や児童の真剣な態度にふれることで学校をより身近に感じていただくよい機会となりました。

夏の学校環境整備には、早朝からたくさんの支援者に集まっていただきました。暑い中にもかかわらず、樹木の剪定や花壇の手入れ等で、子どもたち、保護者、職員と共に汗を流し、隅々まできれいにさせていただきました。また、児童会が計画・運営する石拾い集会の日に合わせて自主的に除草作業をしていただいたり、年間を通じて花壇の手入れを積極的にしていただいたりするなど、一年中きれいな花で子どもたちを喜ばせ、学校を盛り上げていただきました。



【カロムクラブボランティア】



【学校環境整備】

**今年度のまとめ**

今年度も、地域の多くの方が「チーム済南」として、子ども達に関わってくださいました。大変、精力的に活動していただいたことで、子どもたちは地域の方々に親しみをもって楽しく活動することができました。子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶、聞く、清掃の場面を大事にして自己効力感を持てるよう取り組みを進めてきました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が、わずかではありますが、子どもたちの自信をもった行動に表れ始めています。

**来年度に向けて**

地域の子どもの命と安全を守る「チーム済南」の拡大を図るため、これまでの取組や成果をより積極的に地域に向けて発信できるようにホームページや学校便りを活用したいと思います。

テーマ

## 一緒に遊ぼう楽しいよ

目標

いろいろな感動体験をすることで、子どもたちの豊かな心とたくましい元気いっぱいの体を育む。

今年度の取組紹介

### ◆リズムで遊ぼう

ダンスクラブでも教えていただいている山本先生に講師に来ていただき、地域の方や保護者と一緒にふれあい遊びやリズム遊び、ダンス、バルーンなどを一緒に取り組みました。音楽に合わせて動いたり止まったり、ジャンケンをしたりとゲーム的な遊びやストレッチやバランス運動もあり、子どもたちは「よおし、次は頑張るぞ!」「できた!簡単や」と楽しみながら、動きを真似て進んで取り組んでいました。また、親子でのふれあい遊びなどもあり、タオルを使ってのキャッチ遊びなど家庭でも楽しんで取り組める運動遊びも教えてもらい、寒い時期で体を動かすことが少なくなりますが、全身を動かし体が温まるのを感じながら、楽しんで取り組むことができました。



### ◆ならまちたんけん

地域には昔から大事に守られてきたお寺や文化財が身近にあり、『ならまちたんけん』として地域の方に案内してもらって園外保育を行いました。十念寺・浅間さん・誕生寺・鳴川地蔵堂・庚申堂・格子の家・からくりおもちゃ館・元興寺・五重塔・南円堂などに出かけ、子どもたちは地域の方から由来や言い伝えを聞いたり、時には触れたりしながら興味をもって見ていました。身近にある地域の良さを見たり聞いたり体験したりすることで知ることができました。一緒に参加した保護者も「近くに住んでいても知らないことがたくさんあって、わかりやすく教えてもらってよかった」などの感想が聞かれました。



今年度のまとめ

身近な環境や様々な人との関わりを通して、子どもたちに豊かな心が育ってきています。また、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちをもてるようになってきました。年間通して年齢に合わせて、地域の方々との触れ合い（ならまちたんけん）や未就園児親子登園、サッカークラブ、ダンスクラブ、園環境整備（花苗植えや草引き）などから幼児教育の大切さや支援の必要性を確認することができました。保護者からは「ならまちたんけん・昔遊び・お茶会等、親が教えられないことを地域の方から学んで、貴重な経験をさせてもらっている。」「地域の人と交流ができ、あいさつやお礼の言葉を学んだ。」などの意見が聞かれ、様々な経験から、子どもたちは思いやりの心、挑戦する心を持てるようになりました。

来年度に向けて

地域の方の教育力を十分に活用しながら、引き続き、幼稚園が地域の子育て支援の拠点となるよう、ならまちたんけんなどの行事を通して、地域との連携をさらに深めていきたいです。

テーマ

**笑顔でつなごう 元気をひろげよう ふれあいの輪**

目標

地域の方々や保護者との交流を通して、地域に親しみかわりを深めながら心豊かな体験ができるようにする。また、保護者も子どもと共に楽しみながら、いろいろな活動に参加できるよう保育や行事内容の工夫と充実をめざす。

## 今年度の取組紹介

## 【キッズサッカーを楽しもう】

奈良県サッカー協会より2名のコーチを招き、年間8回サッカーやボールを使つての運動遊びをしました。しっぽとりゲームやボールを使つての準備運動、チームに分かれてのゲームでボールを追いかけるうちに、体を動かすことが大好きになっていきました。遊びでは「今日もサッカーしよう」と友達と誘い合つて遊ぶ姿も見られます。地域や保護者の方の自由参観を毎回行い、たくさんの応援を受けながら友達と一緒に元気に遊びました。次回を楽しみにする姿や「やったー」「がんばれー」と友達と励まし合う姿、徐々にボールの扱い方が上手になる姿から運動意欲の高まりや継続の大切さ、様々な人とふれ合う楽しさも味わい保護者の方にも運動遊びの大切さについて理解を得ることができました。



## 【地域・親子でわらべ歌で遊ぼう】

音声館の講師先生を招き、6月の土曜参観では親子で、10月は友達と一緒に遊びました。お手玉遊びやじゃんけん遊び、まり遊びやゴムとびなどいろいろな遊びを友達や家族の方と楽しみました。奈良に伝わる伝承遊びにふれることで、地域の良さや人とふれ合うことの楽しさを感じ心が豊かになる体験をすることができました。日頃の遊びだけでなく年3回行った万年青年クラブの方々とのふれあい会や、参観日、音楽会、生活発表会にもわらべ歌遊びを取り入れ、様々な人と拍を感じながら歌い、笑顔でふれ合つて遊ぶ楽しさを味わうことができました。



## 今年度のまとめ

年間を通して様々な方の協力を得て、全ての活動が充実した取り組みとなり多くの感動体験をすることができました。活動を継続することで楽しさが増し、意欲や自信につながり、幼児が地域の方に親しみを持って挨拶するなど、行動や気持ちに積極性が見られるようになっていきました。自分も人も大切にしようとする豊かな心の育ちにつながっていったと思います。保護者の方にも親子のふれ合いや幼児期の体力づくりの大切さを啓発することができ多くの成果を得ることができました。

## 来年度に向けて

- ・園児がより楽しく活動できる環境づくりや地域の特色や教育力を活かした保育内容、様々な人とかわりながら豊かな体験ができるよう活動内容の充実をめざしたいと思います。
- ・今後も地域や保護者に活動内容や幼児の学びや育ちを様々な方法で知らせていく工夫をし、参加を呼びかけ、より園・家庭・地域とのつながりを深めていけるようにしていきたいです。